

【概要版】**高齢者の福祉や介護に関する調査****－在宅介護実態調査－****実施結果****■ 調査対象及び回収数**

調査対象	認定調査(更新)を受ける在宅生活の方
目標回収数	623 件
回収数	623 件
回収率	100%
対象抽出方法	実施期間中に要支援・要介護認定調査(更新)を受ける在宅生活者

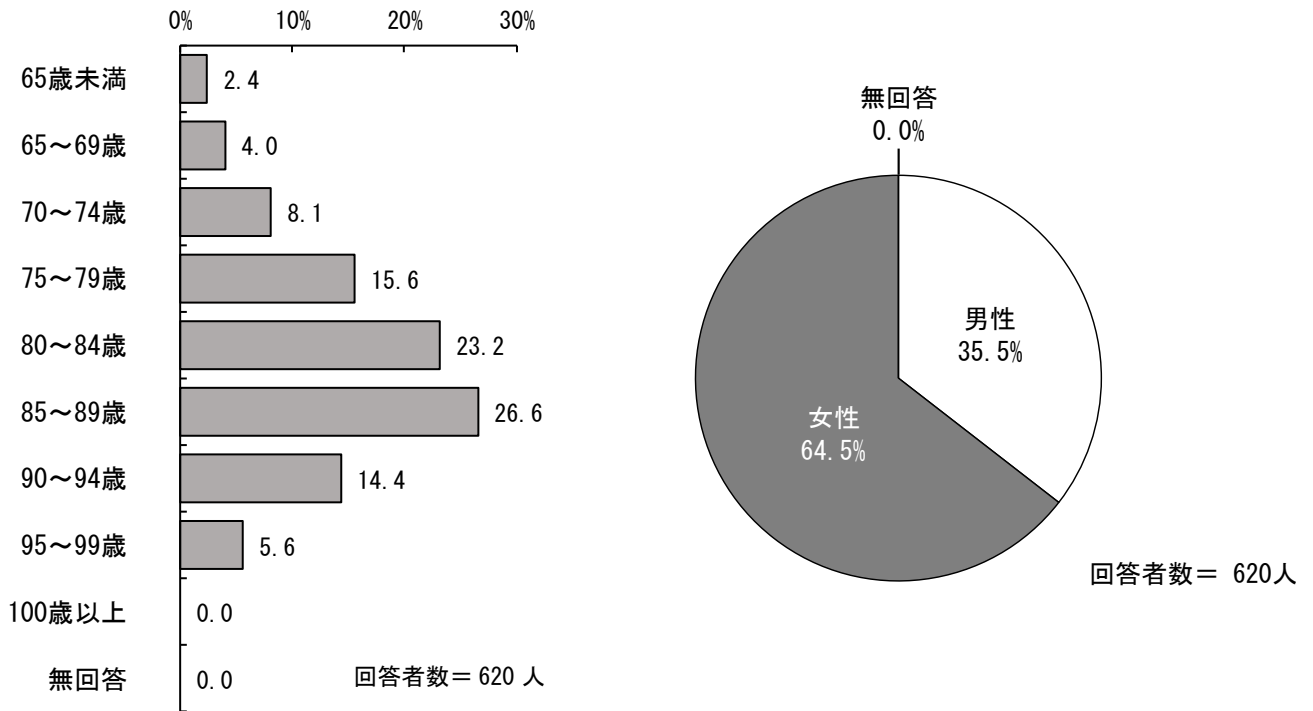
■ 調査結果の見方

- ・百分率(%)は、すべて小数点以下第 2 位を四捨五入した数値であるため、合計が 100%にならない場合がある。
- ・本文中に掲載した図表の単位は、特にことわりのない限り、「%」であらわしている。
- ・グラフ内の()は、設問の回答者数(母数)をあらわしている。
- ・グラフ内の「回答者数」は、各設問に該当する回答の総数であり、回答率(%)の母数をあらわしている。

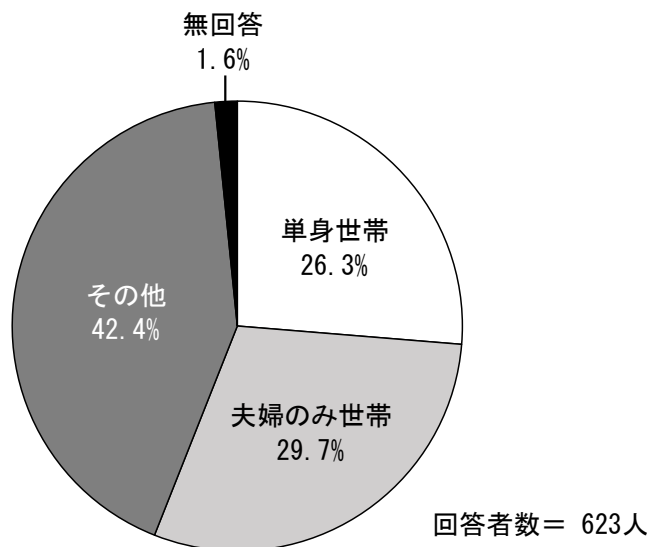
■ 調査結果の概要

回答者の属性について

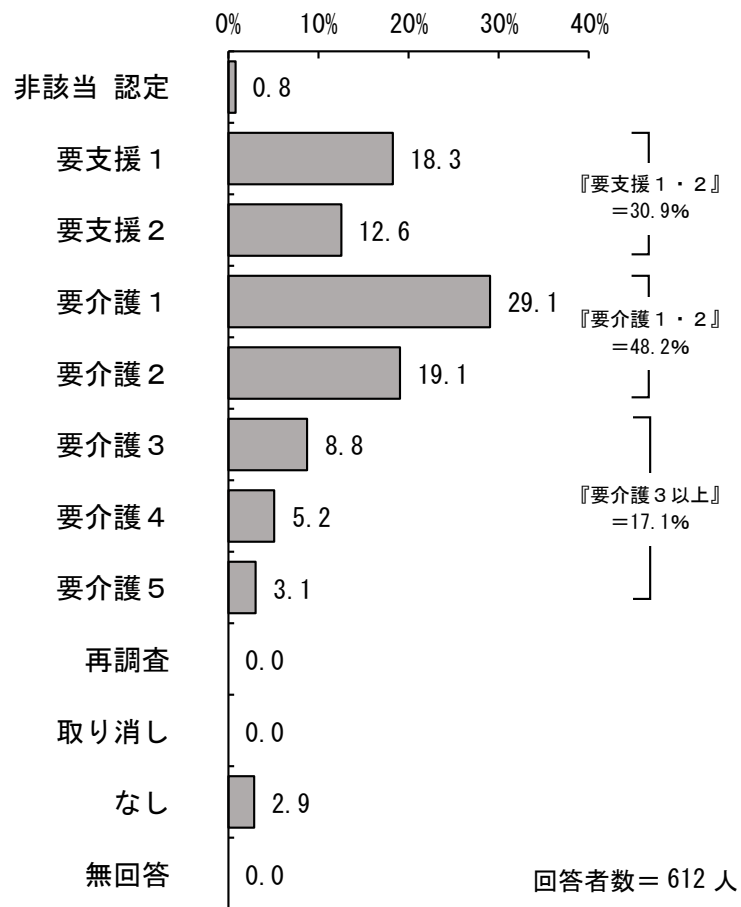
(1) 本人の年齢と性別



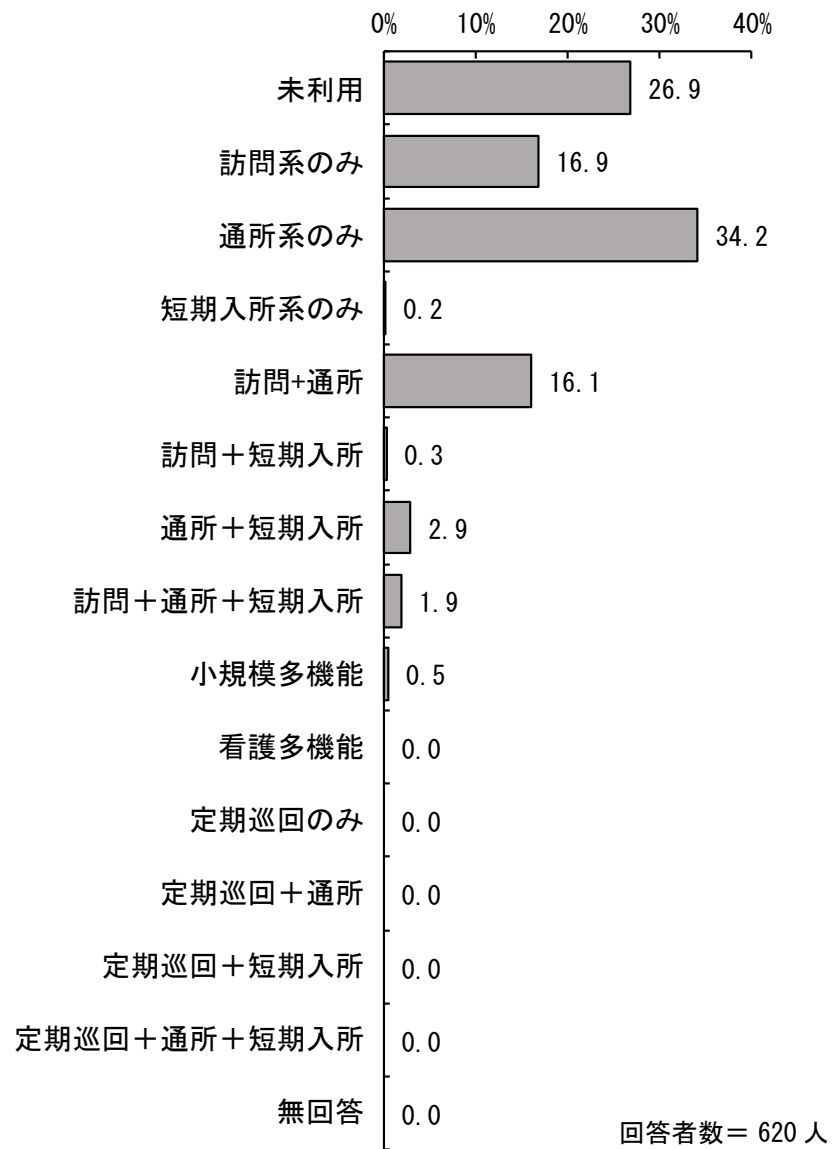
(2) 世帯類型



(3) 要介護度(二次判定結果)

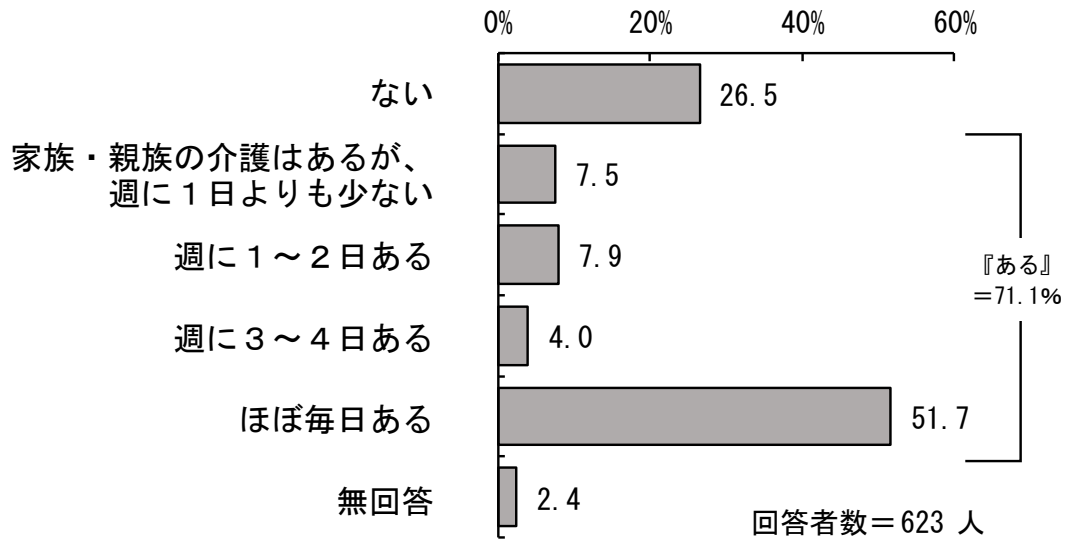


(4) サービスの利用状況

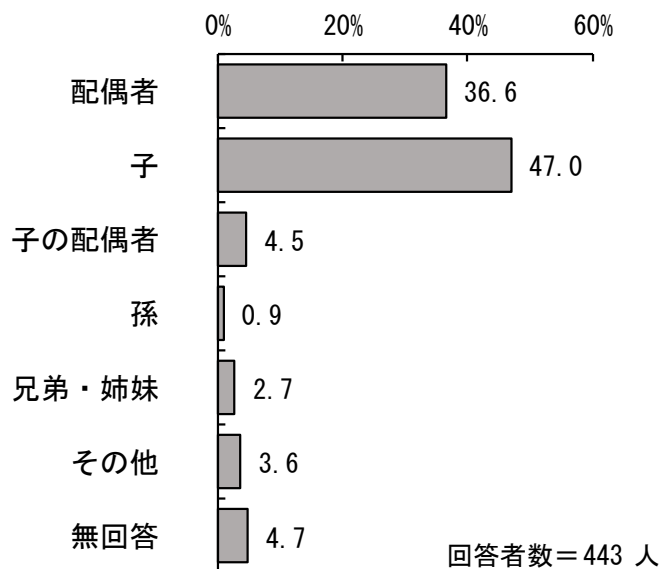


家族による介護について

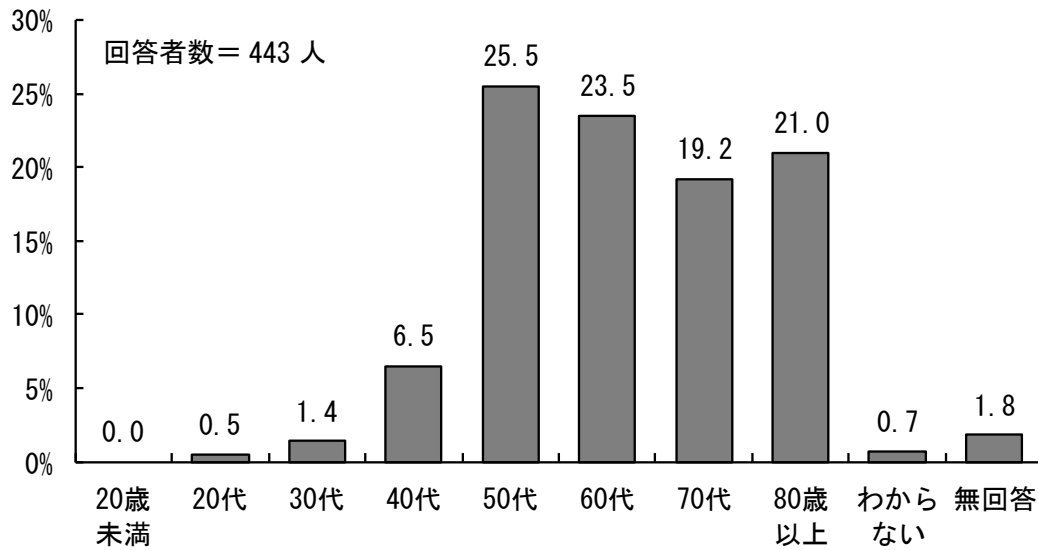
(1) 家族や親族による介護の頻度



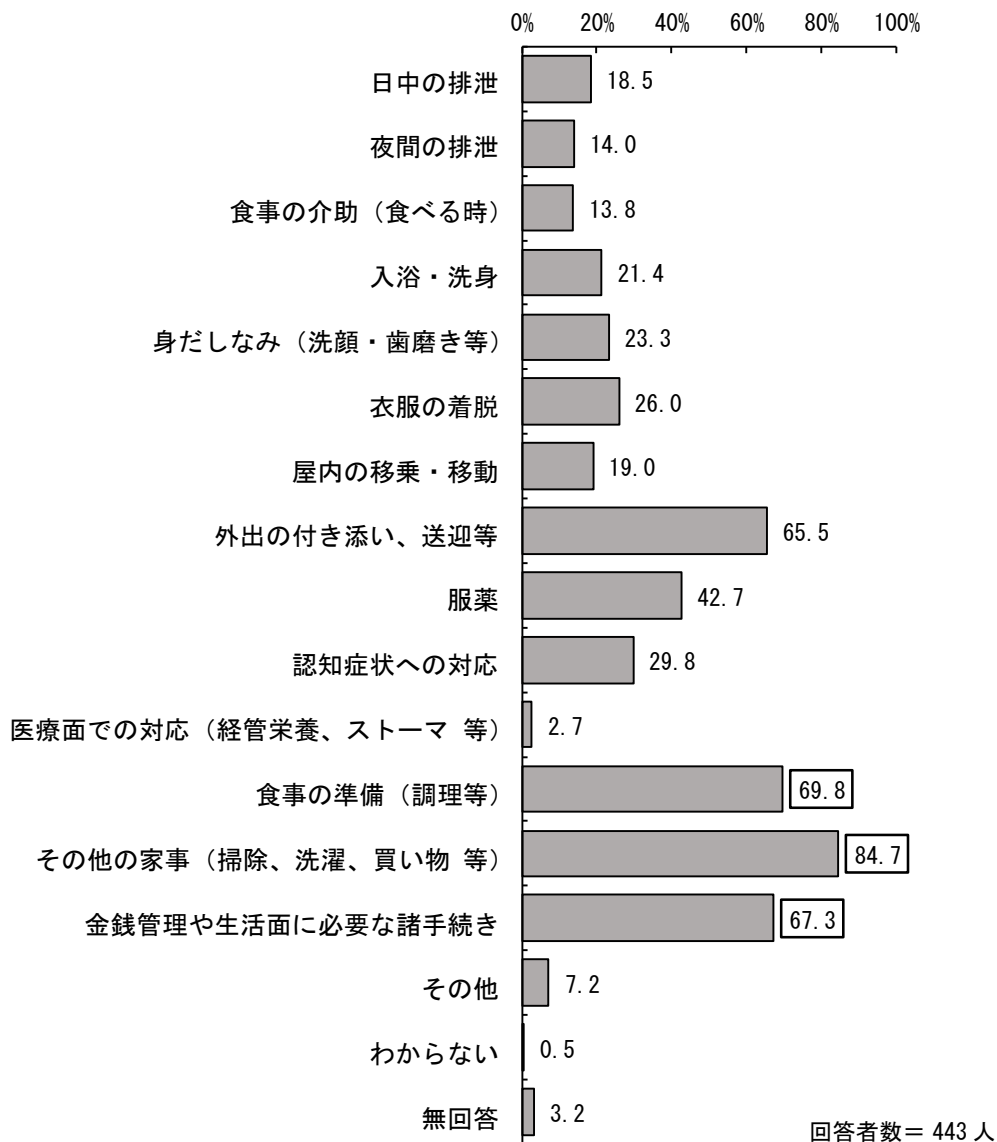
(2) 主な介護者



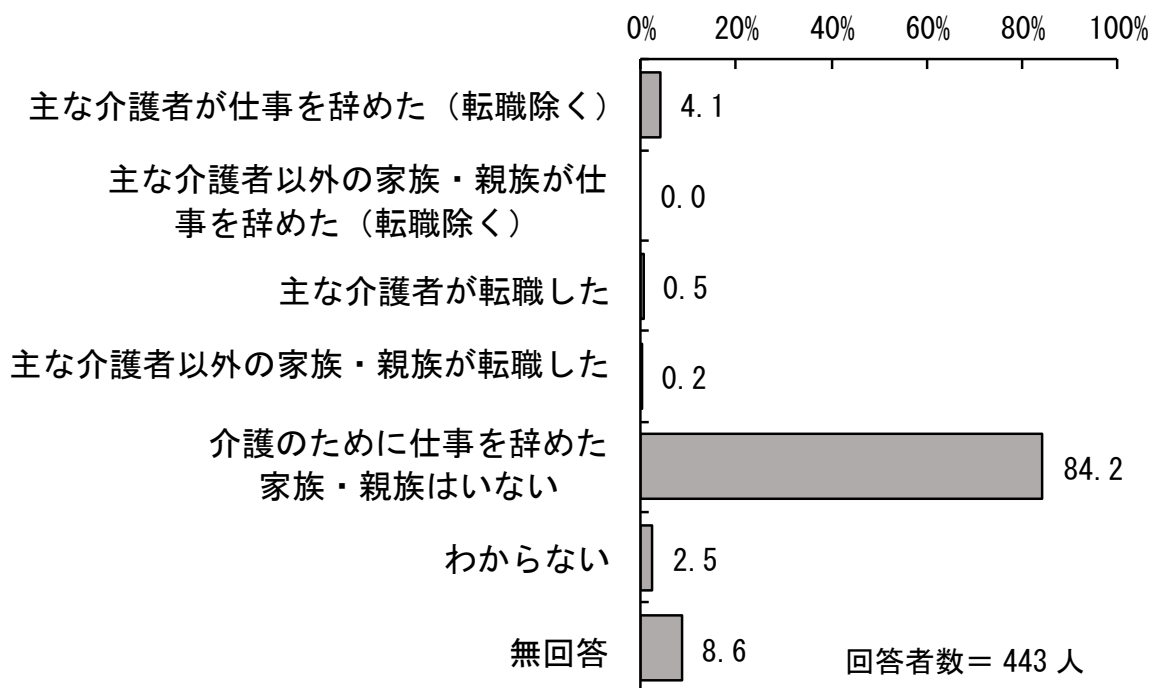
(3) 主な介護者の年齢



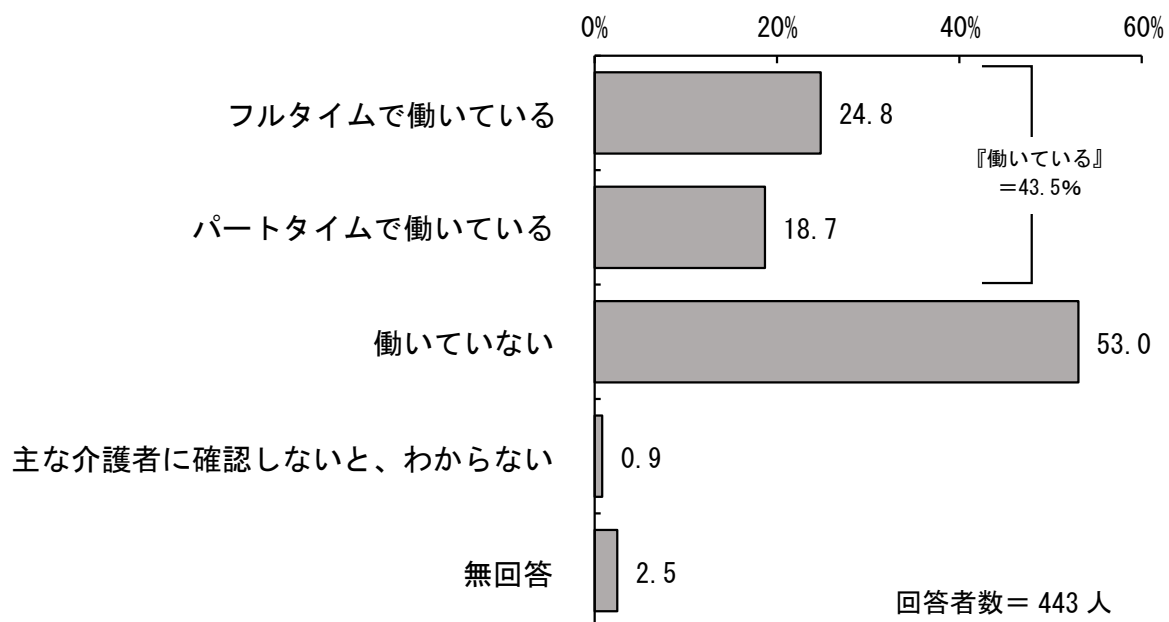
(4) 主な介護者が行っている介護



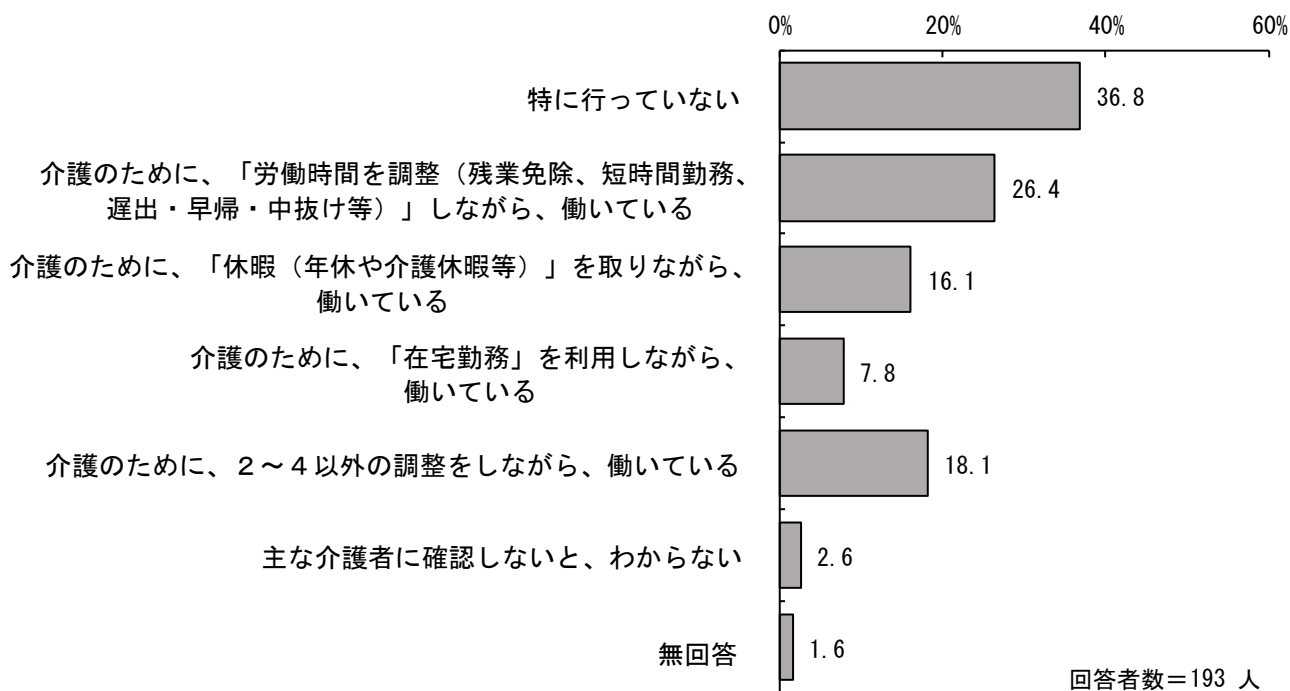
(5) 過去1年間の介護離職の有無



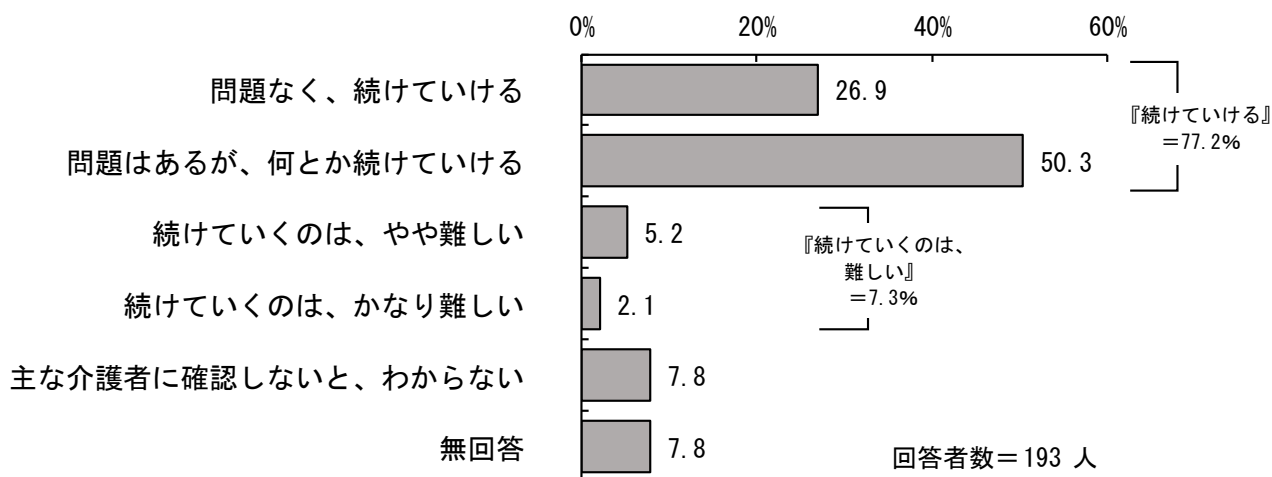
(6) 主な介護者の勤務形態



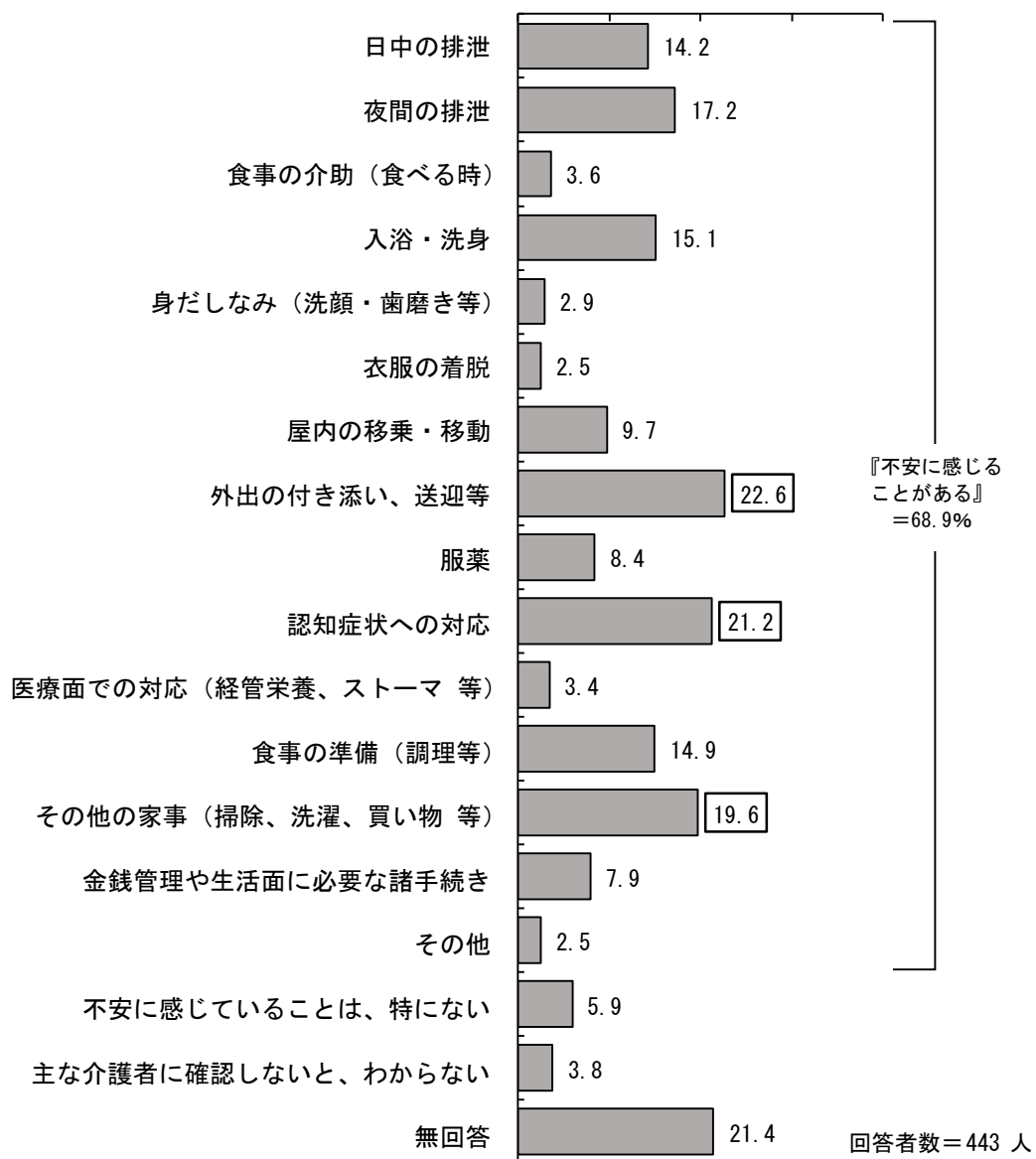
(7) 主な介護者の働き方の調整の有無



(8) 仕事と介護の両立の可否

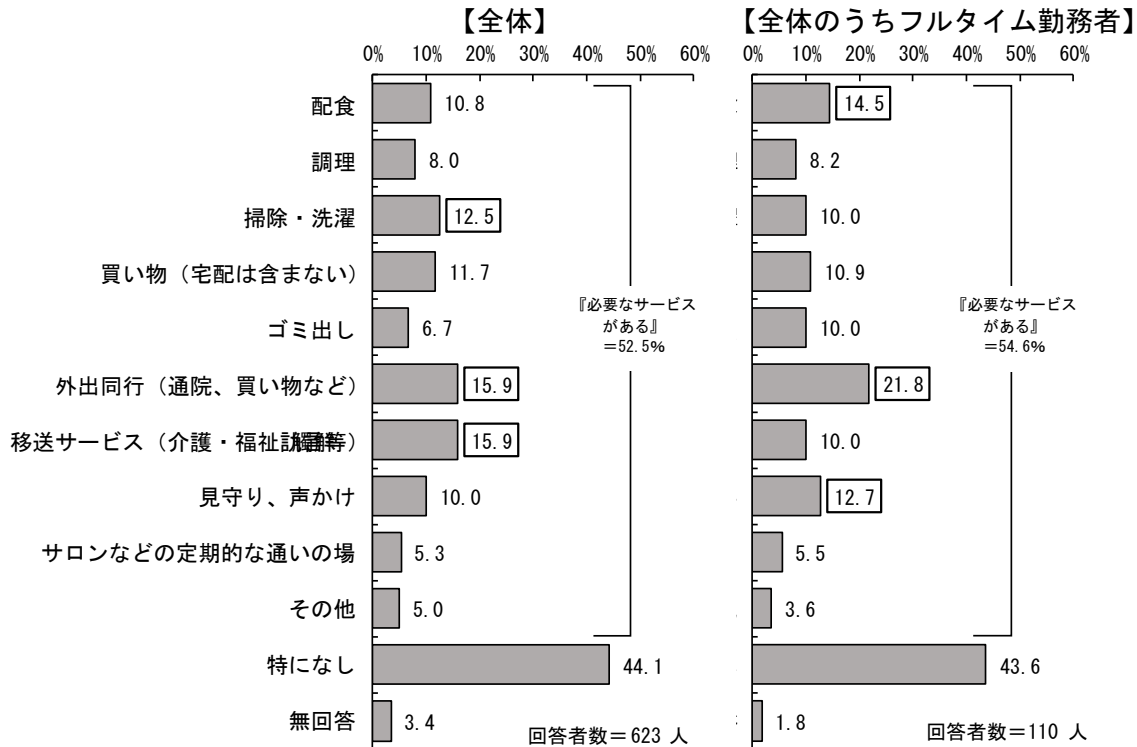


(9) 主な介護者が不安に感じる介護

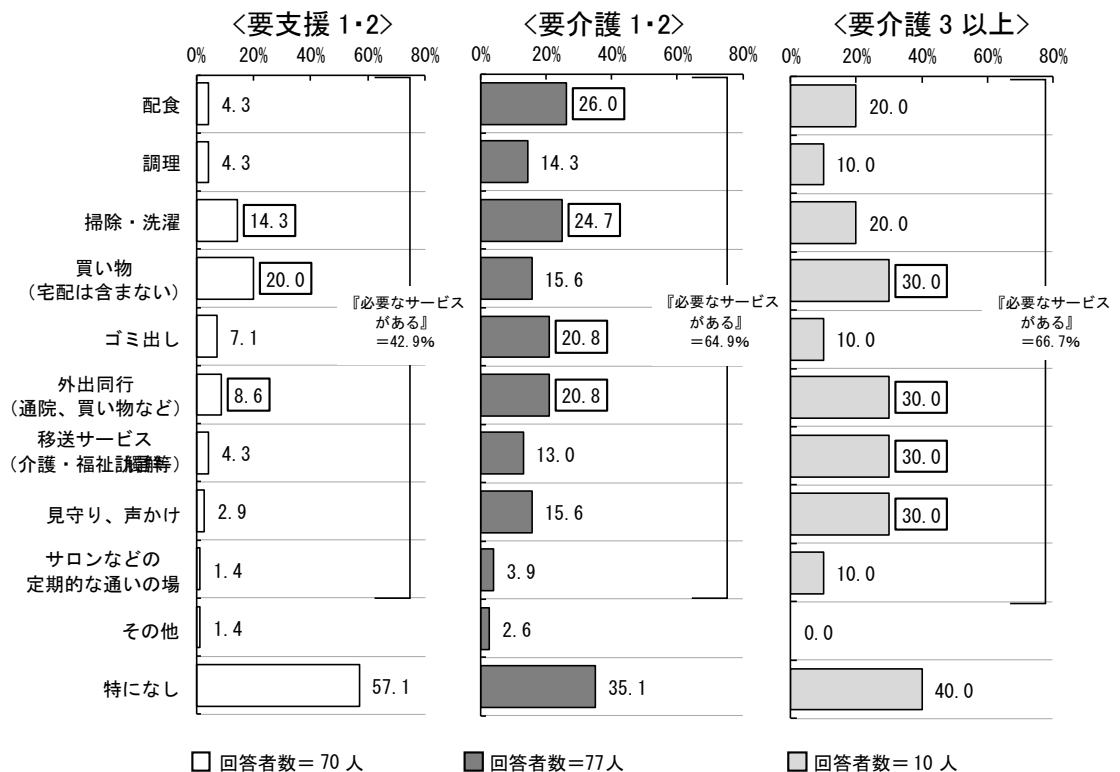


介護サービスについて

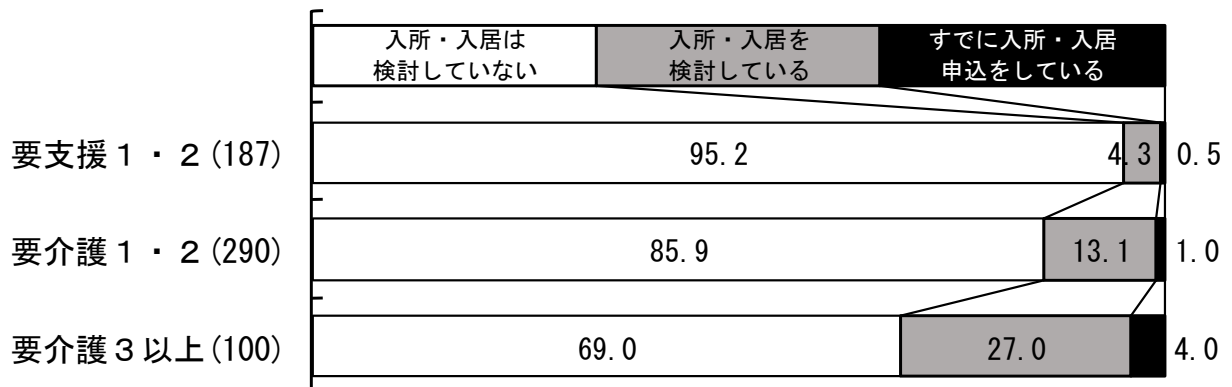
(1) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



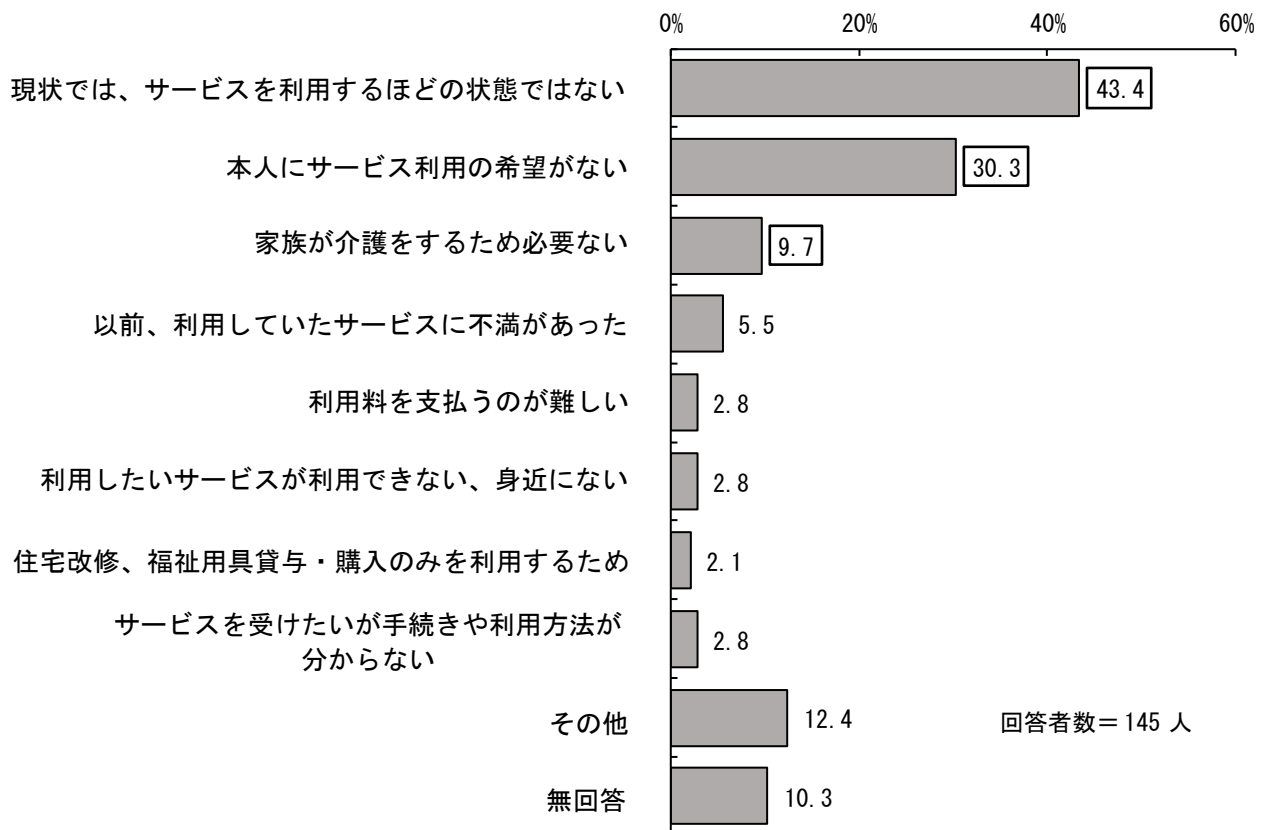
(2) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身者のみ・要介護度別）



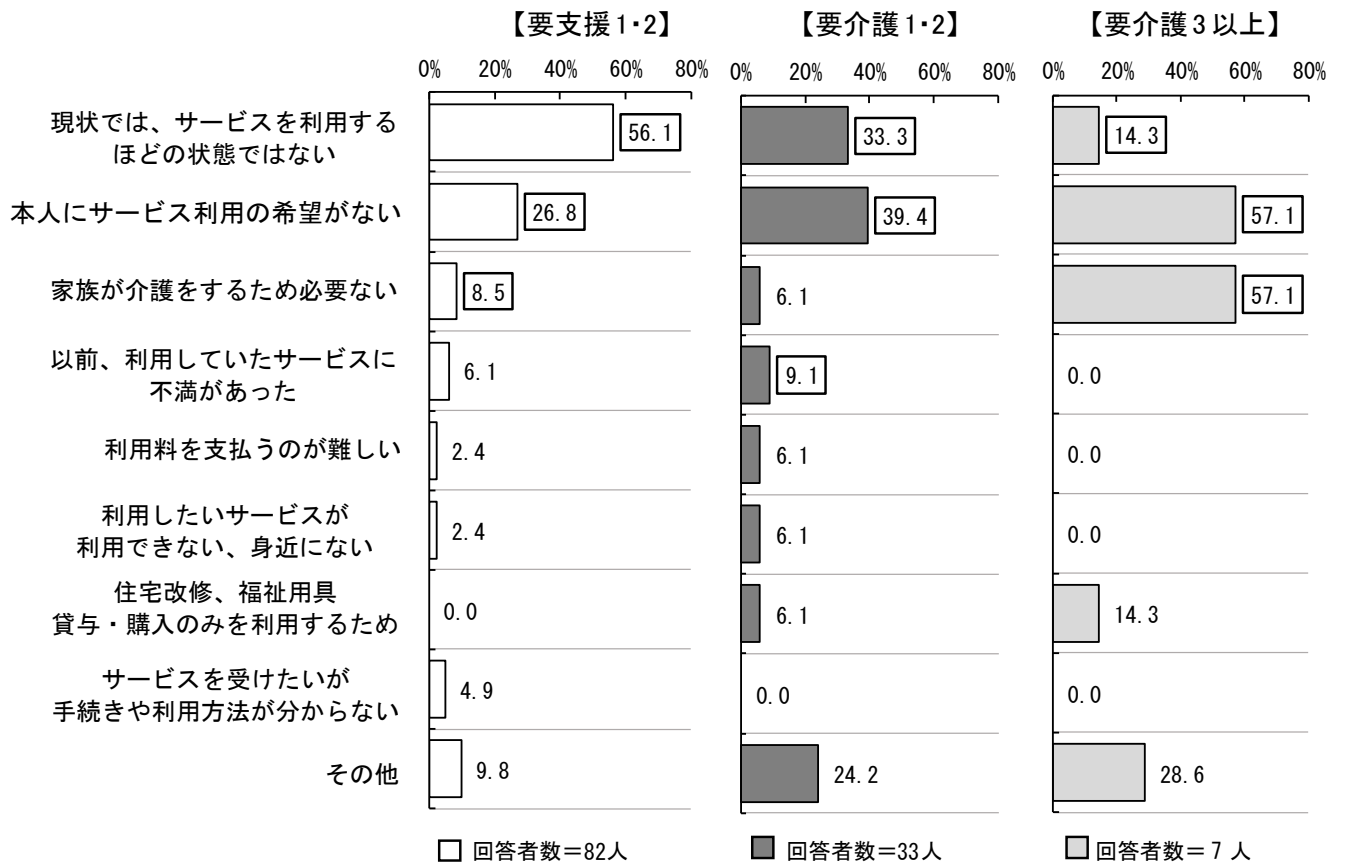
(3) 施設等への入所・入居の検討状況



(4) 介護保険サービスを利用していない理由



(5) 介護保険サービスを利用していない理由(要介護度別)



結果のまとめ

【属性】P2～P4

- ・回答者の約 65%の方が女性である。また、約 85%の方が後期高齢者である。
- ・単身世帯、夫婦のみの世帯がそれぞれ約 3 割を占めており、合わせて半数以上である。
- ・要介護度の二次判定結果は要支援 1～2 を合わせて約 3 割、要介護度 1の方が約 3 割をそれぞれ占めている。
- ・サービスの利用状況は、通所系のみ利用が約 35%、未利用は約 3 割である。

【家族による介護】P5～P9

- ・約 7 割の方が家族による介護を受けており、そのうち「ほぼ毎日ある」が 5 割を超えている。
- ・主な介護者の約 8 割が配偶者または子であり、約 9 割が 50 歳以上である。
- ・主な介護者が行っている介護は生活支援(全て 65%以上)が主だが、移動支援(64.4%)も多くなっている。
- ・主な家族介護者の約 4 割はフルタイム又はパートタイムで働いている。
- ・主な家族介護者の約 4%が過去 1 年間に介護を主な理由として仕事を辞めている。
- ・働いている主な家族介護者の約 7 割が介護のために働き方を調整している。
- ・働いている主な家族介護者の約 1 割が仕事と介護の両立が難しいと感じている。
- ・働いている主な家族介護者の約 2 割が移動支援及び認知症状への対応に不安を抱えています。

【介護サービスについて】P10～P12

- ・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスの上位 3 つは「外出同行(通院、買い物など)(15.9%)」、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)(15.9%)」、「掃除・洗濯(12.5%)」である。
- ・要支援 1・2 の方の約 5%、要介護 1・2 の方の約 1 割、要介護 3 以上の方の約 3 割が施設等への入所・入居を検討している。
- ・介護サービスを利用しない理由として主なものは「サービスを利用するほどの状態ではない(43.4%)」、「本人にサービス利用の希望がない(30.3%)」である。